

火薬庫工事設計明細書（移動式 2 級）

1. 火薬庫の位置及び附近の状況図

2. 保安物件との距離

(1) 最大貯蔵量（規則第 20 条第 2 項の規定を計算式で明示すること。）

$$\text{爆薬庫} \quad \frac{(\quad)}{10} + \frac{(\quad)}{20} + \frac{(\quad)}{\quad} + \quad \div (\quad) \leq 1$$

$$\text{火工品庫} \quad \frac{(\quad)}{10,000,000} + \frac{(\quad)}{\quad} + \frac{(\quad)}{\quad} + \quad \div (\quad) \leq 1$$

(2) 爆薬換算による貯蔵量（規則第 1 条の 6 の規定を計算式で明示すること。）

$$\text{爆薬庫} \quad \frac{(\quad)}{1} + \frac{(\quad)}{2} + \frac{(\quad)}{\quad} + \quad \div (\quad) \text{ ト}$$

$$\text{火工品庫} \quad \frac{(\quad)}{1,000,000} + \frac{(\quad)}{\quad} + \frac{(\quad)}{\quad} + \quad \div (\quad) \text{ ト}$$

(3) 爆薬庫又は火工品庫から保安物件までの保安距離

保安物件の種類 (法定距離)	爆 薬 庫		火 工 品 庫	
	保安物件名	方角及び距離	保安物件名	方角及び距離
第 1 種 (m)				
第 2 種 (m)				
第 3 種 (m)				
第 4 種 (m)				

(注) 保安物件が当該事業用施設である場合は、当該保安物件にその旨を併記すること。

3. 火薬庫の構造及び設備

(1) 火薬庫、防火設備及び警戒設備並びに警鳴装置等の全体設置計画

(2) 火薬庫相互間距離

爆薬庫 () トン () m 火工品庫 () トン () m

(3) 火薬庫の構造等

項 目			爆 薬 庫	火 工 品 庫
軽量型鋼系プレハブの形式			フレームパネル・耐力パネル壁形・ボックス形	フレームパネル・耐力パネル壁形・ボックス形
基礎	周囲の布基礎	構 造	鉄筋コンクリート・無筋コンクリート	鉄筋コンクリート・無筋コンクリート
		アンカーボルト	()ヶ所 直径()mm	()ヶ所 直径()mm
		通気孔	金網張・パンチングメタル 鉄棒（直径()mm・間隔()mm）	金網張・パンチングメタル 鉄棒（直径()mm・間隔()mm）
	内部のつか石		別図のとおり	別図のとおり
骨組	土台のアンカーボルト		()ヶ所 直径()mm	()ヶ所 直径()mm
	柱・梁桁・合掌もや等		軽量型鋼とし、外部にボルト、ナット類を表さないよう施行する。	軽量型鋼とし、外部にボルト、ナット類を表さないよう施行する。

床の板張り			厚さ()mm 鉄部を表さない。	厚さ()mm 鉄部を表さない。
外壁 (妻壁共)	外部	構 造	鉄板張り・耐力 ^ハ 祢・()	鉄板張り・耐力 ^ハ 祢・()
		厚 さ	()mm	()mm
		固定方法	溶接・ボルト締め・()	溶接・ボルト締め・()
	内部	構 造	耐水ベニヤ板張・()	耐水ベニヤ板張・()
		厚 さ	()mm	()mm
		固定方法	釘打・接着剤・()	釘打・接着剤・()
	内外部の空間		断熱材()	断熱材()
換気孔		()ヶ所 金網張・パンチン ^グ メタル	()ヶ所 金網張・パンチン ^グ メタル	
内 壁		ベニヤ板張	ベニヤ板張	
屋根	外部	構 造	鉄板張り・平スレート葺	鉄板張り・平スレート葺
		厚 さ	()mm	()mm
		取付方法	釘打、溶接・()	釘打、溶接・()
	内 部		耐水ベニヤ板張・厚さ()mm	耐水ベニヤ板張・厚さ()mm
屋根パネル		耐水ベニヤ板張・耐力パネル	耐水ベニヤ板張・耐力パネル	
小屋組			たる木、野地板は木製とする。	たる木、野地板は木製とする。
蟻 趾	取付場所		屋根裏・天井裏	屋根裏・天井裏
	金 網		太さ()番線・網目()mm	太さ()番線・網目()mm
	固定方法		ステーブル止め	ステーブル止め
天井	材 料		ベニヤ板張	ベニヤ板張
	換気孔		()ヶ所 金網張	()ヶ所 金網張
出入口の枠の固定方法				
外扉 (耐火扉)	枠 角 蝶 番 錠	構 造	片開・鉄板張り 厚さ()mm	片開・鉄板張り 厚さ()mm
		寸 法	高()cm 幅()cm 厚()mm	高()cm 幅()cm 厚()mm
		枠の覆い	3周とも()mm	3周とも()mm
		長さ・数	()mm・()ヶ所	()mm・()ヶ所
		取付方法	電気溶接・()	電気溶接・()
		種 類	シンダー本締錠・()	シンダー本締錠・()
		取付数	鍵ちがいの錠 ()ヶ所	鍵ちがいの錠 ()ヶ所
		ロット棒		
内扉	構 造		1本引、 本製板戸	1本引、 本製板戸
	寸 法		高()cm 幅()cm 厚()mm	高()cm 幅()cm 厚()mm
	レール・戸車・引手の使用材料			
	錠		シンダー本締引戸用錠・()	シンダー本締引戸用錠・()

(4) 警鳴装置の構造等

項 目		警 鳴 を 発 す る 装 置	警 報 を 発 す る 装 置
メーカー及び型式			
設置場所		火薬庫の外壁・付近 ()	火薬庫の外壁・付近 ()
本 体	外 函	鉄板製、厚さ()mm	鉄板製、厚さ()mm
	錠の種類		
	開口部の防護措置	雨・雪の進入	
		虫類の進入	
		回路の外部接触	
警報器	種類		サイレン・ブザー・スピーカー・ベル
	警報等の始動及び音量		扉（開放・振動）()デシベル
回路	庫内電流		爆薬庫()A 火工品庫()mA
	切断対策		警鳴を発する・金属管で保護
	保安装置		避雷器・ヒューズ()mA

	テスト装置	スイッチ式	スイッチ式
電 源	電池（電圧の消耗状況）	メーター・表示灯	メーター・表示灯
	交流（停電時の措置）	予備電池に自動切り替え	予備電池に自動切り替え

(5) 防火設備及び警戒設備

項 目		爆 薬 庫	火 工 品 庫
防火 設備	防火用空地	幅()m	幅()m
	貯水槽	()トン ()槽	()トン ()槽
警戒 設備	警戒札の種類		
	夜間点灯装置	有(施工図及び設置図による)・無	有(施工図及び設置図による)・無

4. 貯蔵上の取り扱い

(1) 最高最低寒暖計

(2) 火薬類の貯蔵

火薬類の最大貯蔵量（外装の寸法による計算式を明示すること。）

爆薬庫

火工品庫

(3) その他

5. 年間貯蔵予定量

爆薬庫 () トン + 火工品庫 () トン = () トン

6. 火薬類取扱保安責任者の選任予定（保安手帳持参）

区 分	氏 名（年 齢）	免 状 の 種 類	保安手帳番号
取扱保安責任者	()	()種取扱免状	
同代理者	()	()種取扱免状	

(注)選任届書は、火薬庫完成検査申請書と同時に提出すること。

7. 火薬庫竣工予定

年 月 旬